

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 5年 3月 7日

事業所名： Atelierみるく

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	0	0	十分に活動スペースを確保しています。特に集団活動の際には密にならないように屋外活動も取り入れています。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	2	1	職員の急な休みにも補充を徹底しています。各利用者の成長・ニーズに合わせて専門支援員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	5	3	建物の構造上、バリアフリーが難しい箇所は声掛けをし、見守っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	4	0	週1回のミーティングで意見交換をしています。また随時気付いた時に話し合い、広く全職員と共有しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	1	0	保護者様からのアンケート結果やご意見を職員間で共有し、更なる業務改善につとめています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	0	0	ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	0	3	現在、第三者による外部評価は行っていません。検討したいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	2	0	職員自ら資質向上に向けて希望する研修に参加できるように調整しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	0	0	毎回、書面や口頭でニーズの把握を行なっています。さらに丁寧に要望をお聞きし、適切な療育が行えるように分析・立案して参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	2	2	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	2	0	ご利用者さんに関わる全ての職員以外にも専門職員の意見も取り入れながら立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	3	0	身体の調整などを取り入れたり、複数の職員で担当したり、固定化しないように心がけています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	2	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1	0	個人レッスンで合っても役割分担を行い、利用者さんが安心してレッスンに迎える環境作りを考えています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	4	2	当日の振り返りを次回の支援に反映できるように共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	0	0	毎回、記録は正しくつけることは徹底しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1	0	担当者からの評価をもとに、担当者および全ての関わる職員・児発管がモニタリング会議を行い、判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	9	4	0	利用者さんのお子の成長のため、役割分担をしながら組み合わせさせて支援を行っています。
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	3	0	最もふさわしい者が参加できない時は、児発管がその担当者から詳しく聞き取りして参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	12	1	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	5	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	5	0	相談事業所や保護者さんの情報によって共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	5	1	支援会議にて情報を提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	5	2	機会があれば検討します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	6	0	集団プログラムにおいて、インクルーシブなレッスンを設定しており、双方にとって成長の場となるように努めています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	7	2	機会がなく、なかなか参加できていませんが、参加するように努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	1	0	送迎時などに事業所での様子をお伝えするようになっています。また、学校・家庭での様子もお聞きし、状況や課題の共通理解に努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	4	0		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	3	0	契約時に丁寧にご説明しています。疑問のある時はいつでも迅速に対応できるようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	2	0	保護者様よりお悩みがある時は、時間をお取りしてお話を聞き、更なる支援へと繋いでいます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	8	3	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	0	苦情があった場合は迅速に対応できるように、苦情対応についての体制は整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	5	4	
	35	個人情報に十分注意しているか	12	1	0	事業所のパソコンの扱いも含めて、個人情報には十分注意しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	2	0	ライン、口頭、メール、書類等、様々な媒体を使って伝達漏れの内容に配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	3	8	2	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	1	0	契約時に説明を行い、いつでも閲覧できるように事業所入口に常設しています。職員にも周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	2	0	毎年5月11月に行っています。昨年はコロナ下のため、職員のみで行い、結果を保護者様にご報告しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	1	0	毎年全職員を対象に研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11	2	0	当事業所の環境、構造を考慮して事故の可能性のある個所を事前に説明し、対応の仕方を子どもや保護者様に了解していただいています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	3	0	食べ物を提供する機会はありませんが、事前に情報を把握して注意しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	4	1	まだ、周知していない職員がいるようなので、周知を徹底します。